

江差町子どもの読書活動推進計画

(平成30年度～平成34年度)



【江差町のマスコットキャラクター しげっち】

平成30年12月

江差町教育委員会
江差町図書館

目 次

第1章 江差町子どもの読書活動推進計画の基本的な考え方	1
江差町子どもの読書活動推進計画策定に向けて	
I 計画策定の目的	1
II 計画の基本的な考え方	2
1 計画の目的	2
2 計画の指針	2
3 計画の対象	2
4 計画の期間	2
5 他計画との関係	2
6 計画策定の体制	
第2章 子ども・保護者の読書における現状	3
I 調査の目的	3
II 調査対象及び調査方法	3
III 回収結果	3
IV 調査結果概要	3
【子どもの読書アンケートについて】	3
【保護者の読書アンケートについて】	7
第3章 子どもの読書活動推進のために	11
基本目標1 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進	11
(1) 家庭における読書活動の推進	11
(2) 地域における読書活動の推進	12
(3) 保育所・幼稚園等における読書活動の推進	13
(4) 学校における読書活動の推進	14
基本目標2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備	15
(1) 図書館における読書環境の整備	15
(2) 学校図書館における読書環境の整備	16
基本目標3 子どもの読書活動の普及・啓発	17
江差町子どもの読書活動推進計画策定委員名簿	18
策定委員会	18
資料1 子どもの読書活動の推進に関する法律	19
資料2 江差町図書館の現状	22
資料3 子どもの読書アンケート 調査結果	28

第1章 江差町子どもの読書活動推進計画の基本的な考え方

江差町子どもの読書活動推進計画策定に向けて

I 計画策定の目的

読書は、子どもたちの豊かな心を育み、人間としての考え方や生き方を学ぶ大切な機会を与えるものです。得た知識を活用し、創造力を膨らませることで、より良い生き方を考え、生きる上での礎を培う機会を与えてくれます。

読書について、学校教育法では、「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと」と普通教育の目標の一つに規定しています。このように、読書に親しむことや、国語の基礎的な能力を養うことは、「生きる力」の基礎となる学力を身に付けるための基本となっています。さらに、読書活動は、子ども¹が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上では欠くことのできないものであります。

平成13年に成立した「子どもの読書活動の推進に関する法律」は子どもの読書活動の推進に関し「すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない」という基本理念を定めたものです。その中で、国が子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画を策定すること、4月23日を「子ども読書の日」と定めること等が掲げられています。この法律に基づき、平成14年に「子どもの読書活動に関する基本的な計画」（第一次基本計画）が定められ、平成20年には、子どもを取り巻く環境の変化から第二次基本計画が、平成25年には、第三次基本計画が策定されました。さらに、平成30年に第四次基本計画が閣議決定され、一層の充実を求められております。今回の計画では、特に高校生の「不読率」の改善に向けた計画が盛り込まれました。

こうした経過を踏まえ、北海道では、平成15年11月に国の計画を基本として「第一次北海道子どもの読書活動推進計画」を策定しています。平成20年3月に第二次計画「次代を担う子どもの心を育む北の読書プラン」、平成25年3月に第三次計画「生きる力を育む北の読書プラン」を策定し、計画に基づき読書普及活動を進めています。

本町でもこうした流れを踏まえ、「江差町子ども読書活動推進計画」を平成30年度で策定し、これまで家庭、地域、各機関がそれぞれ行ってきた読書を推進するための取組みをまとめ、より一層推進していくことを目的としています。

II 計画の基本的な考え方

1 計画の目的

江差町の子どもの読書活動の現状分析と課題解決に向けた目標を定め、今後の江差町の子どもたちが読書に親しみ、より良い読書環境を身に付けるための施策と具体的な取組みを示すべく子どもの読書活動の推進に向けた基本計画を策定します。

2 計画の指針

江差町では、国の基本方針、北海道の子ども読書活動推進計画、江差町第5次総合計画、江差町教育推進計画を考慮し、次の3項目を計画の基本的方針としたいと考えています。

- ①家庭・地域・学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実
- ②子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進
- ③子どもが読書に親しむための推進体制の整備

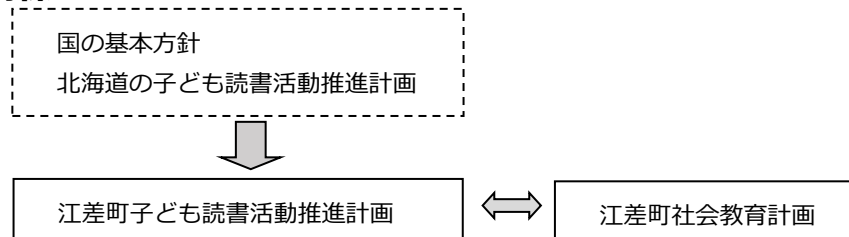
3 計画の対象

本計画は、0歳から概ね18歳までを対象とします。

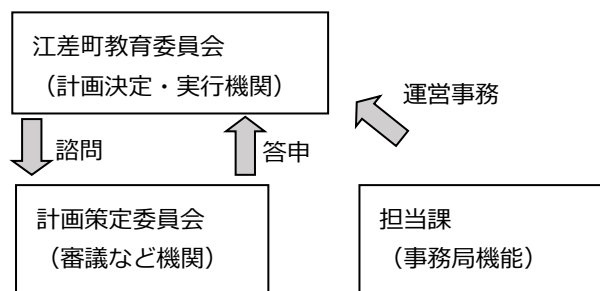
4 計画の期間

平成30年度から平成34年度までの5年間とします。

5 他計画との関係



6 計画策定の体制



1 子ども：本計画において、子どもとは、おおむね18歳以下の者

第2章 子ども・保護者の読書における現状

I 調査の目的

この調査は、今後の読書活動推進事業の参考にするとともに、「江差町子どもの読書活動推進計画（平成30年度～平成34年度）」策定の基礎資料として活用するために実施しました。

江差町の子どもの読書活動の現状分析を行うため、町内小学校児童・中学校生徒・高校生を対象にアンケート調査を実施しました。

II 調査対象及び調査方法

調査対象者を、江差町内の小学校（3校）・中学校（2校）・高等学校（1校）、幼稚園・保育園に通う子どもの保護者を対象としました。

III 回収結果

区分	配布数	回収数	回収率
小学校児童	302人	294人	97.4%
中学校生徒	160人	156人	97.5%
高校生徒	315人	308人	97.8%
合計	777人	758人	97.6%

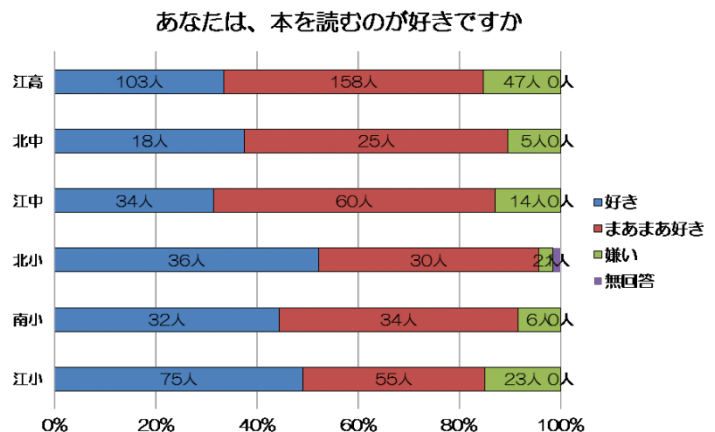
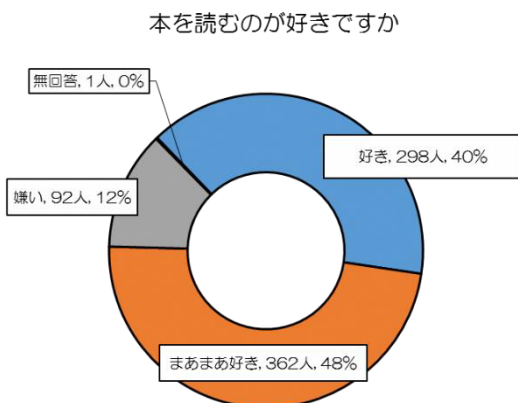
IV 調査結果概要

【子どもの読書アンケートについて】

（1）本を読むのが好きか嫌いか について

本を読むのが好きな子どもは、「まあまあ好き」が48%と最も多く、次いで「好き」が39%、「嫌い」が13%となっています。

また、「まあまあ好き」と「好き」を合わせると87%と読書が好きな割合が高くなっています。



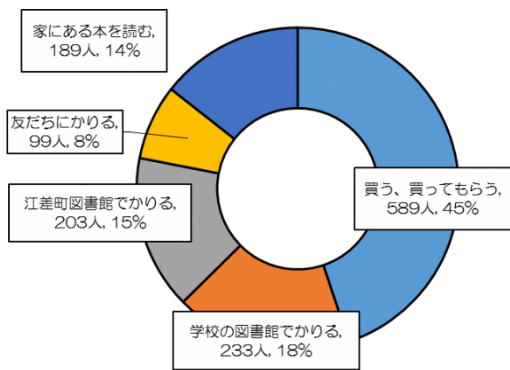
(2) 読みたい本をどのように手に入れるか について

読みたい本をどのように手に入れるかについては、「買う・買ってもらう」が44%と最も多く、次いで「学校の図書館で借りる」が17%、「江差町図書館で借りる」が15%となっています。

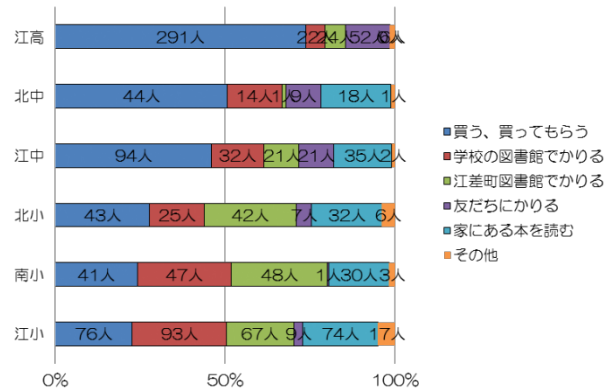
「図書館で借りる」を合わせると32%と、購入に次いで割合が高くなっておりま

	買う、買ってもらう	学校の図書館で借りる	江差町図書館で借りる	友だちにかりる	家にある本を読む	その他
小学生	160人	165人	157人	17人	136人	26人
中学生	138人	46人	22人	30人	53人	3人
高校生	291人	22人	24人	52人	-	6人
計	589人	233人	203人	99人	189人	35人

読みたい本はどのように手に入れますか



読みたい本はどのように手に入れますか



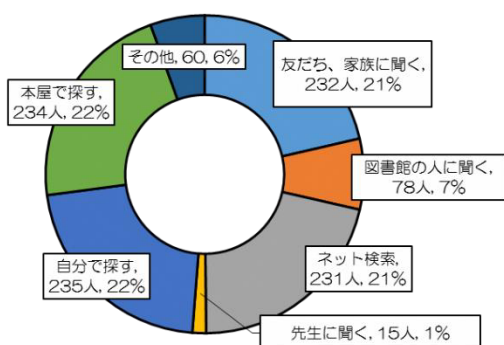
(3) 読みたい本をどのようにみつけるか について

読みたい本をどのようにみつけるかについては、「本屋で探す」・「自分で探す」が22%と最も多く、次いで「ネット検索」が21%となっており、「図書館の人に聞く」が7%と低くなっています。

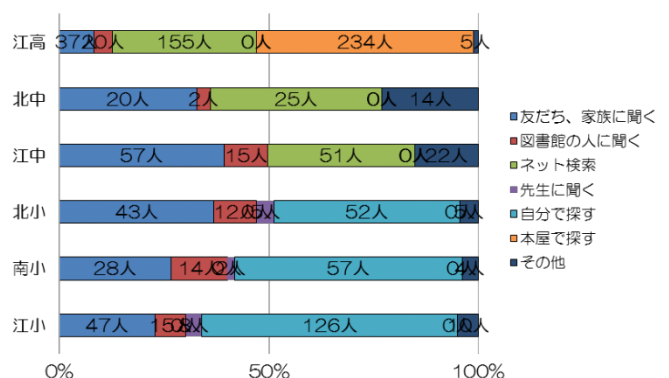
「自分で探す」と「ネット検索」を合わせると43%と、「本屋で探す」でもりも高くなっておりま

	友だち、家族に聞く	図書館の人に聞く	ネット検索	先生に聞く	自分で探す	本屋で探す	その他
小学生	118人	41人	-	15人	235人	-	19人
中学生	77人	17人	76人	-	-	-	36人
高校生	37人	20人	155人	-	-	234人	5人
計	232人	78人	231人	15人	235人	234人	60人

読みたい本をどのようにみつけますか



読みたい本をどのようにみつけますか



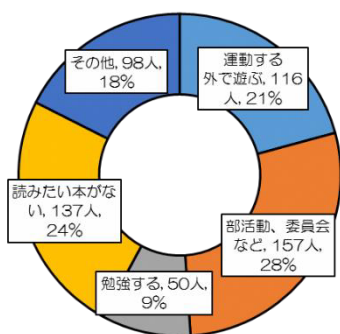
(4) 学校の図書室に行かない理由 について

学校の図書室に行かない理由については、「部活動・委員会など」が28%と最も多く、次いで「読みたい本がない」が24%となっております。

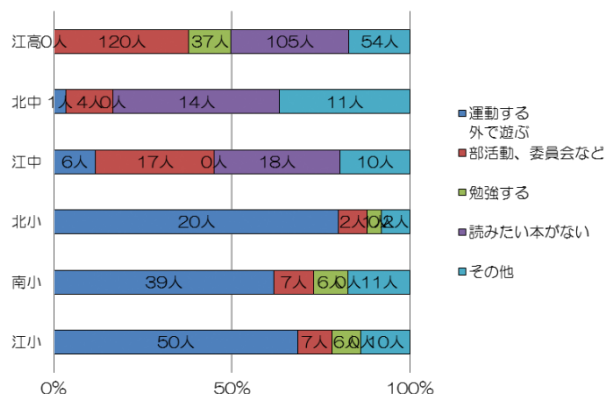
また、「運動する・外で遊ぶ」は小学生で高く、「部活動・委員会など」は中学生・高校生で高くなっております。

	運動する 外で遊ぶ	部活動、委員 会など	勉強する	読みたい本が ない	その他
小学生	109人	16人	13人	-	23人
中学生	7人	21人	-	32人	21人
高校生	-	120人	37人	105人	54人
計	116人	157人	50人	137人	98人

学校の図書室に行かない理由



学校の図書室に行かない理由



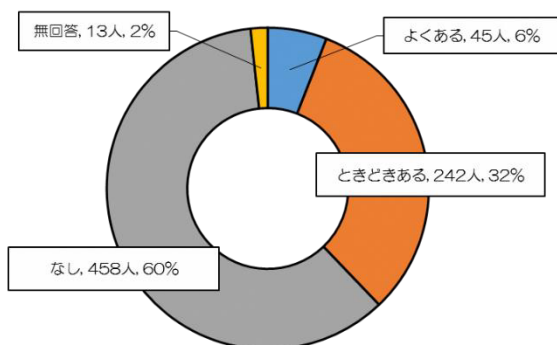
(5) 家族で本について話題になることがあるか について

家族で本について話題になるかについては、「なし」が60%と最も多く、次いで「ときどきある」が32%となっております。

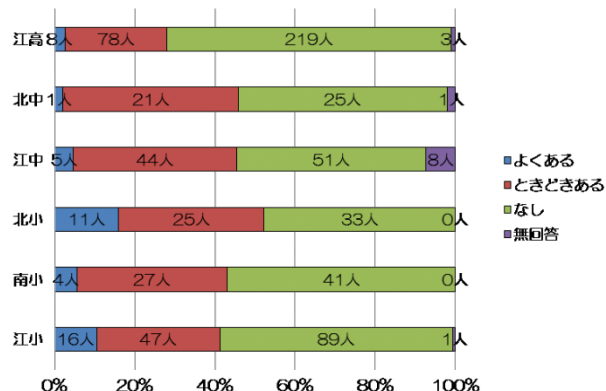
また、「よくある」は6%と低くなっておりますが、江差北小学生では「よくある」と「ときどきある」を合わせると52%と高くなっております。

	よくある	ときどきある	なし	無回答
小学生	31人	99人	163人	1人
中学生	6人	65人	76人	9人
高校生	8人	78人	219人	3人
計	45人	242人	458人	13人

家族で本について話題になることはありますか



家族で本について話題になることはありますか



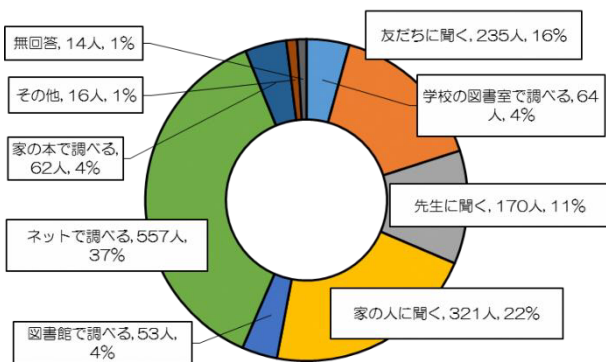
(6) 知りたいことがあるとき、どうやって調べるか について

知りたいことがあるとき、どうやって調べるかについては、「ネットで調べる」が37%と最も多く、次いで「家の人に聞く」が22%となっております。

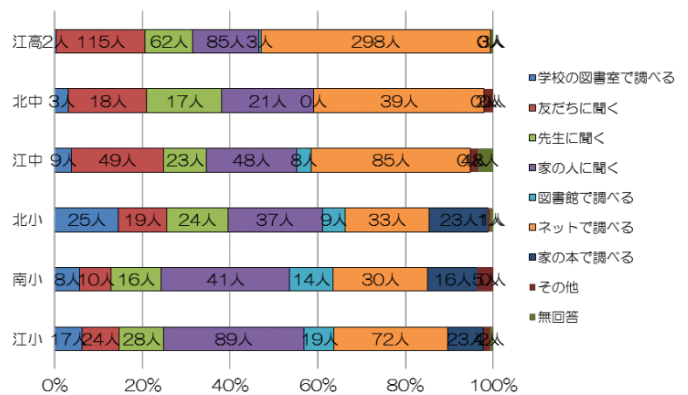
また、「学校の図書室で調べる」と「図書館で調べる」は4%と低くなっておりますが、「家の人に聞く」22%・「友達に聞く」16%・「先生に聞く」が11%となっております。合わせると49%となり、家族及び児童・生徒や先生との情報交換やコミュニケーションのツールになっていることがわかります。

	学校の図書室で調べる	友だちに聞く	先生に聞く	家の人に聞く	図書館で調べる	ネットで調べる	家の本で調べる	その他	無回答
小学生	50人	53人	68人	167人	42人	135人	62人	10人	3人
中学生	12人	67人	40人	69人	8人	124人	-	6人	8人
高校生	2人	115人	62人	85人	3人	298人	-	0人	3人
計	64人	235人	170人	321人	53人	557人	62人	16人	14人

知りたいことがあるとき、どうやって調べますか



知りたいことがあるとき、どうやって調べますか



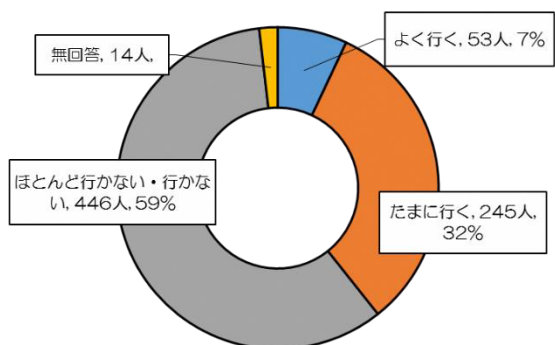
(6) 江差町図書館へはよく行きますか について

江差町図書館へはよく行きますかについては、「ほとんど行かない・行かない」が59%と最も多く、次いで「たまに行く」が32%となっております。

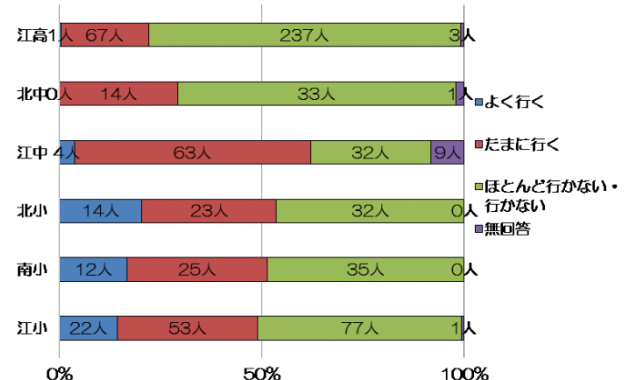
また、「よく行く」は7%と低くなっております。

	よく行く	たまに行く	ほとんど行かない・行かない	無回答	計
小学生	48人	101人	144人	1人	294人
中学生	4人	77人	65人	10人	156人
高校生	1人	67人	237人	3人	308人
計	53人	245人	446人	14人	758人

江差町図書館へはよく行きますか



江差町図書館へはよく行きますか

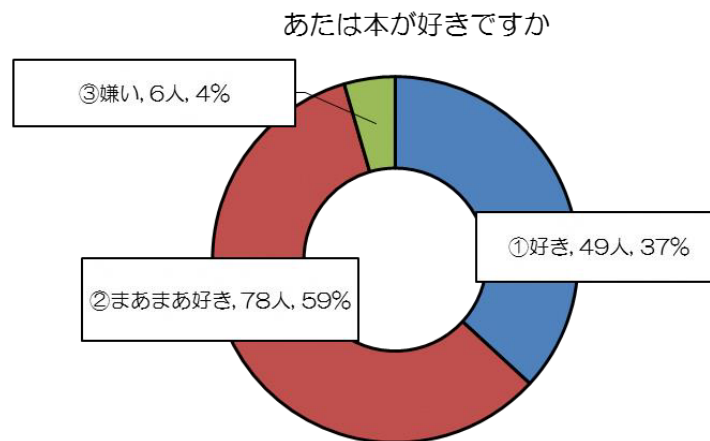


【保護者の読書アンケートについて】

（１）本が好きか嫌いか について

保護者についても「本が好き」「まあまあ好き」と答えた割合は 96%と、ほとんどの保護者が本が好きと答えています。

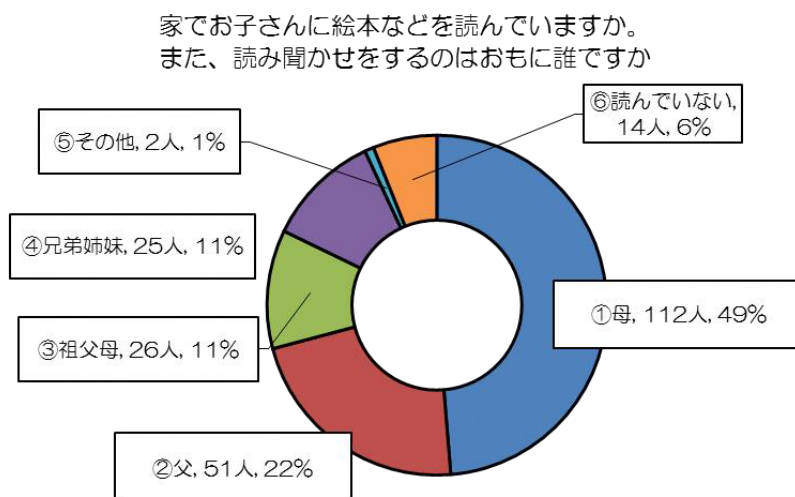
	①好き	②まあまあ好き	③嫌い	計
幼稚園 保護者	20人	23人	2人	45人
保育園 保護者	24人	49人	4人	77人
乳幼児 保護者	5人	6人	0人	11人
計	49人	78人	6人	133人



（２）自宅で絵本などの読み聞かせをしているか について

94%とほとんどの家庭で読み聞かせを行っており、母親または父親が読み聞かせの中心となっていることが分かります。

	①母	②父	③祖父母	④兄弟姉妹	⑤その他	⑥読んでいない	計
幼稚園 保護者	41人	25人	5人	8人	1人	1人	81人
保育園 保護者	63人	23人	18人	14人	1人	11人	130人
乳幼児 保護者	8人	3人	3人	3人	0人	2人	19人
計	112人	51人	26人	25人	2人	14人	230人

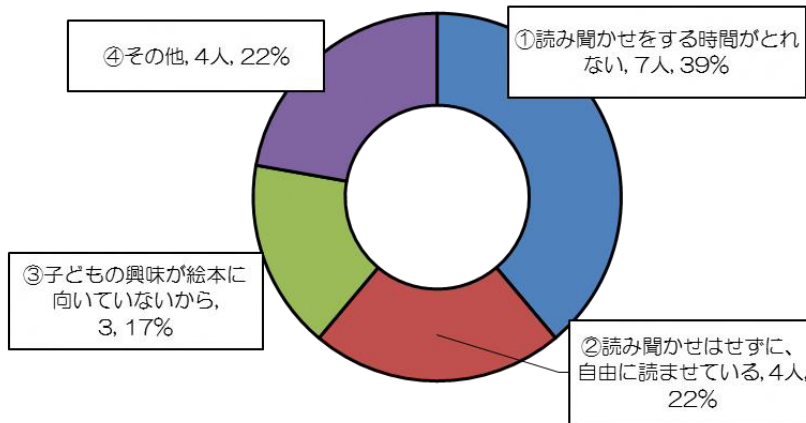


(3) 読み聞かせをしなかった理由 について

読み聞かせをしなかった理由については、読み聞かせをする時間が取れないという回答が一番多く、次に多かったのは自由読書をさせているというものでした。

	①読み聞かせをする時間がとれない	②読み聞かせはせずに、自由に読ませている	③子どもの興味が絵本に向いていないから	④その他	計
幼稚園 保護者	1人	0人	1人	0人	2人
保育園 保護者	5人	4人	2人	3人	14人
乳幼児 保護者	1人	0人	0人	1人	2人
計	7人	4人	3人	4人	18人

読み聞かせをしなかった理由

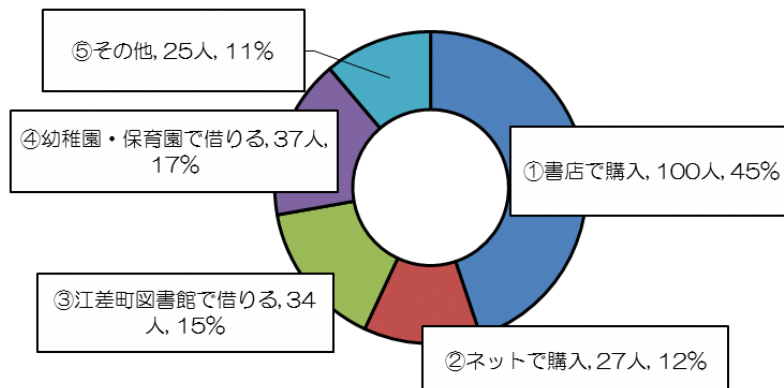


(4) 読み聞かせる本をどのように手に入れるか について

本の入手方法は、「書店・ネットで購入する」が67%と半数以上を占めています。一方、「図書館で借りる」との回答は15%と少なくなっております。

	①書店で購入	②ネットで購入	③江差町図書館で借りる	④幼稚園・保育園で借りる	⑤その他	計
幼稚園 保護者	33人	13人	18人	35人	9人	108人
保育園 保護者	59人	13人	14人	2人	13人	101人
乳幼児 保護者	8人	1人	2人	0人	3人	14人
計	100人	27人	34人	37人	25人	223人

読んであげる本はどのように入手していますか

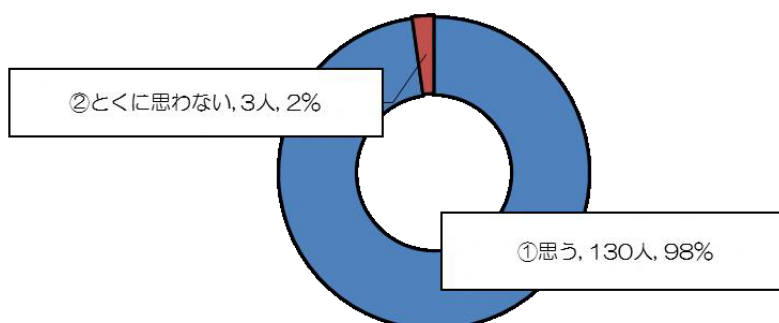


(5) 幼いころから本に親しむことは大切だと思うか について

読み聞かせを行っている家庭が多いことから分かるように、幼いうちから本に親しむことが大切だと考える保護者が大多数を占めております。

	①思う	②とくに思わない	計
幼稚園 保護者	45人	0人	45人
保育園 保護者	75人	2人	77人
乳幼児 保護者	10人	1人	11人
計	130人	3人	133人

幼いころから本に親しむことは大切なことだとは思われますか

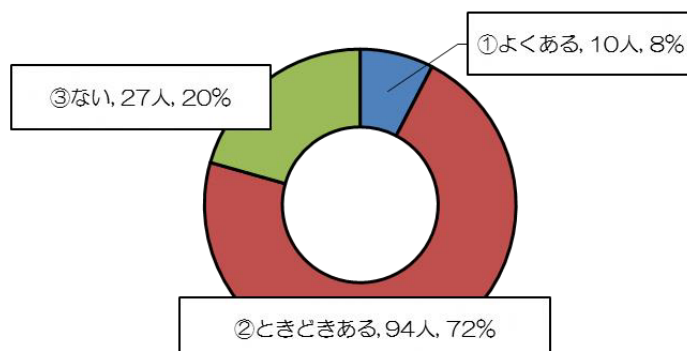


(6) 家族で本について話題になることがあるか について

この問いでは、「よくある」「ときどきある」との回答があわせて81.1%あり、本への関心が高いことがわかります。

	①よくある	②ときどきある	③ない	計
幼稚園 保護者	7人	33人	5人	45人
保育園 保護者	3人	56人	18人	77人
乳幼児 保護者	0人	5人	4人	9人
計	10人	94人	27人	131人

家族で本について話題になることはありますか

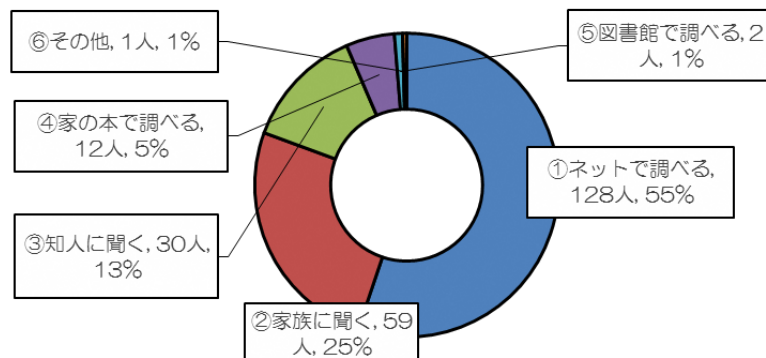


(7) 知りたいことがあるとき、どうやって調べるか について

調べものにはインターネットを使うとの回答が55%と、約半数を占めていました。続いて家族、知人に聞くとの回答が38%という結果となっております。

	①ネットで調べる	②家族に聞く	③知人に聞く	④家の本で調べる	⑤図書館で調べる	⑥その他	計
幼稚園 保護者	44人	20人	10人	7人	2人	1人	84人
保育園 保護者	75人	33人	18人	5人	0人	0人	131人
乳幼児 保護者	9人	6人	2人	0人	0人	0人	17人
計	128人	59人	30人	12人	2人	1人	232人

知りたいことがある時、どうやって調べますか

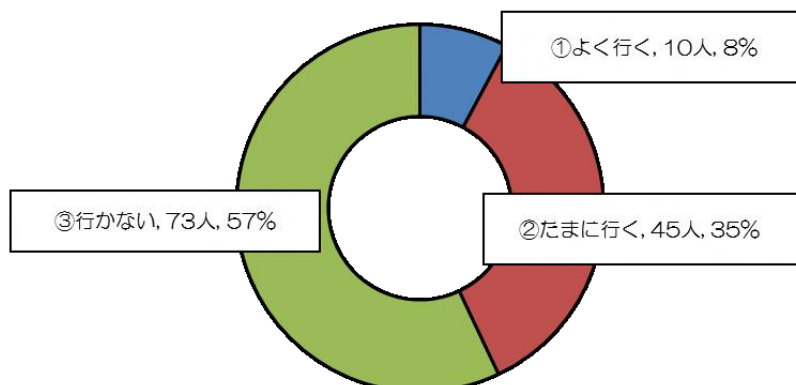


(8) 江差町図書館へはよく行きますか について

「図書館によく行く」「たまに行く」は合わせて42%、「行かない」との回答は57%と半数以上あり、図書館を利用している家庭が少ない状況となっております。

	①よく行く	②たまに行く	③行かない	計
幼稚園 保護者	5人	21人	18人	44人
保育園 保護者	5人	20人	52人	77人
乳幼児 保護者	0人	4人	3人	7人
計	10人	45人	73人	128人

江差町図書館へはよく行きますか



第3章 子どもの読書活動推進のために

基本目標1 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進

(1) 家庭における読書活動の推進

乳幼児期から家庭で本に親しむ環境を作るには、保護者やまわりの大人たちの理解が必要となります。家庭に本があること、家族で読書を楽しむことは読書週間の定着・継続につながります。

家庭での読書活動を推進するため、関係団体や保育園・幼稚園と連携し、また、図書館を子どもが足を運びやすい環境にするよう努めていきます。

具体的な取り組み	具体的な取り組みの概要
読書環境の充実	子どもの読書習慣の形成には、家庭の中に本がある環境を作ることが大切です。子どもの発達段階に合わせた本の選び方や楽しみ方の情報を得るため、図書館の積極的な利用が望まれます。 図書館の絵本や児童書の充実を図り、保護者が乳幼児を連れて来館しやすいように、設備や館内の雰囲気づくりなどの条件整備を行います。
ブックスタート事業 ² の実施	7か月児相談の際にブックスタートパックを手渡し、家庭での絵本を介した親子のスキンシップの方法や大切さを伝えます。 また、両親学級でも絵本を使ったスキンシップの方法や絵本の選び方などを伝え、子どもが生まれる前から、読書環境の充実を図ります。
情報の発信	社会教育課や図書館が担当する様々な講座や研修会、又は町が主催する子育て支援のための事業などを通して、保護者に子どもの読み聞かせの大切さや読書の重要性を伝えていきます。

2 ブックスタート事業：赤ちゃんと保護者が絵本を介して心触れ合うひと時を持つきっかけとなるように、0歳児検診などで絵本を手渡す事業。江差町では、7ヶ月児相談時に実施している。

(2) 地域における読書活動の推進

子どもたちの読書活動を推進するために図書館及び移動図書館の環境整備を図ることが必要です。また、ボランティア団体³や保育園、幼稚園、学校と連携し、読書機会の充実、読書環境の整備に努めます。

具体的な取り組み	具体的な取り組みの概要
移動図書館	図書館から距離のある地域を中心に、毎週金曜日、2コースを巡回し、来館が困難な地域を中心に読書機会の充実を図ります。また、江差北小学校・北中学校については毎週巡回することで、子どもたちの読書機会の充実を図ります。
読み聞かせ会	月2回、ボランティア団体による絵本の読み聞かせ会を開催。また、クリスマス会なども開催し、本に親しみやすい環境整備に努めます。
水堀郵便局配本所	水堀郵便局に配本所を設置し、定期的に入れ替えをすることで、北部地区の読書機会の充実を図ります。
夜間開館実施	毎週水曜・金曜日に午後7時まで開館することで、利用者の利便性を高め、利用率の向上に努めます。
各種イベントへの参加	産業まつりなどに図書館として参加することで、図書館活動のPRを図るとともに、読書機会の充実を図ります。



3 ボランティア団体：江差町では、「絵本サークルポポリン」による読み聞かせの活動が活発に行われている。

(3) 保育所・幼稚園等における読書活動の推進

子どもが初めて集団生活を体験する保育所・幼稚園等では、子どもの世界が大きく広がる時期に心の栄養となる絵本に出会うことが重要です。日常的な読み聞かせ、手遊び歌などを行い、子どもが本の世界を楽しむ機会を大切にします。そのために、移動図書館車の派遣や団体貸出など、子どもたちがさまざまな絵本に触れ合えるよう支援していきます。

また、保護者に対して、家庭での読み聞かせの大切さや絵本を通しての子育ての楽しさを伝えるよう努めます。

具体的な取り組み	具体的な取り組みの概要
移動図書館臨時運行 (幼稚園)	町内の幼稚園へ移動図書館車を派遣し、読書機会の充実に努めます。また、読み聞かせ訪問を同時に行うことで、より一層読書への関心を高めます。
団体貸出	各施設に長期間の貸出を行い、様々な本に触れる機会を増やし、読書意欲の向上を図ります。
定期的な読み聞かせ	各幼稚園や保育園の先生方や、ボランティア団体により定期的に読み聞かせを行います。また、子育て支援センターにも読み聞かせ訪問を行い、より多くの子どもと保護者に読書活動の定着を促します。
利用体験	散歩等に合わせて図書館を利用してもらい、さまざまな本に触れる機会を増やし、読書意欲の向上を図ります。
保護者に対する家庭での読み聞かせの奨励	お知らせなどで連絡し、園での読み聞かせ等の様子を知らせてもらうことで、保護者に対して家庭での読み聞かせを奨励し、読書習慣の定着に努めます。



(4) 学校における読書活動の推進

学校では、本と親しみ、生涯にわたって読書を継続していく習慣を身に付けさせるため、小中学校の発達段階に応じた子どもの自主的・意欲的な学習活動や読書活動を支援します。

家庭・図書館・関係機関との連携を図りながら、各学校において魅力ある読書活動に取り組みます。また、学校図書室は、子どもたちの多種多様にわたる興味や関心を充足させ、知的な刺激を与える場であるとともに、調べ学習等を支える情報提供の場でもあります。その観点から、学校図書室の図書資料を充実させ、子どもが多くの魅力ある図書と出会えるように努めます。

具体的な取り組み	具体的な取り組みの概要
読書時間の確保	各学校で朝の読書や一斉に読書に取り組む活動を支援し、読書時間の確保に努めます。
ブックトーク 読み聞かせ訪問	ボランティア団体と協力し、各小学校でブックトークや読み聞かせを行い、本への関心、読書意欲の向上に努めます。
職場体験等受入	図書館の仕事を体験することで、新しい形で図書や読書に関心を持ってもらいます。
移動図書館臨時運行 (小学校)	各小学校の長期休業前に移動図書館車を運行し、休業期間の読書活動を推進します。
図書館見学・利用体験	単元に合わせた図書館での調べ学習を支援する。また、団体利用を受け入れ、図書館の利用方法を実際に体験してもらうなど、より図書館を身近に感じてもらうよう努めます。
団体貸出	学校、学級ごとに図書を貸出し、朝読書や調べ学習などに活用してもらうことで読書活動を推進します。
障害のある子どもの 読書活動の推進	障がいのある子どもが豊かな読書活動を体験できるよう、一人ひとりの子どもに合わせた図書教材を活用しながら、読書活動の推進に努めます。
「心の居場所」となる 学 校図書館の運営	学校司書 ⁴ の配置により、静かに安心して過ごせる子どもの「心の居場所」となる学校図書館の充実に努めます。
関係機関との連携	学校職員と図書館職員との情報交換を行い、連携して子どもの読書環境の整備に努めます。

4 学校司書：学校図書館運営の改善や向上を進めるために配置される職員。平成 27 年 4 月から施行された改正学校図書館法で各学校に学校司書を置く義務が定められた。

基本目標 2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備

(1) 図書館における読書環境の整備

図書館は、子どもたちが自由に読みたい本を選び、学習や読書を楽しむことができる場所です。そのためには、気軽に足を運び、利用したいと思われる場所となることが求められています。

そのため、蔵書の充実を図り、学校図書や読みたい本などをすぐに提供できるよう、優良図書の紹介や子どもたちの手が届く配架の工夫などに努めます。

また、学習場所としての利用も多くレファレンスの充実をはじめ、子どもたちが集中して学習できる環境づくりに努めていきます。

具体的な取り組み	具体的な取り組みの概要
図書館資料やサービスの充実	絵本や児童書、調べ学習に活用できる図鑑など、子どもたちの成長に役立つ資料を整備・配架などの工夫し、その情報提供に努めます。また、レファレンスを充実し子どもたちの学習を支援します。
読み聞かせ会やイベントの充実	未就学児を対象にした絵本の読み聞かせ会を継続して開催し、読書の啓発を行います。また、クリスマス会などの特別集会を開催し、その内容の充実に努めます。
図書館検索システムの電算化導入の検討	図書館の利便性の向上と利用者の増加を図るためにインターネットによる図書館の蔵書情報を公開する検索システムのデータベースを作成し蔵書管理に努めます。また、貸出・返却等の蔵書管理を電算化することにより、利用冊数制限が緩和でき、予約受付等のサービスの質の充実に努めます。
職員研修の開催	北海道立図書館の専門研修や、渡島・檜山図書館振興協議会研修会へ職員を派遣し、図書館職員の資質向上に努めます。
図書館ホームページの活用	新刊情報やイベント情報を提供します。
町広報紙の活用	おすすめ本の紹介や、移動図書館情報、読み聞かせ会の情報などを発信します。
道立図書館との連携	道立図書館の支援事業を利用し、利用者のリクエストに幅広く対応します。
児童コーナーの整備	乳幼児や幼児がより利用しやすいよう、レイアウトを工夫するなど環境を整備します。
学習場所としての図書館	児童や生徒が気軽に集まり、学習できる場所としての図書館を整備する。

【主な推進事業】

- ① 豊富で多様な図書資料や読書情報の整備・充実
- ② 話題の本や企画展示など配架の工夫
- ③ 長期休業期間の読書講座の実施
- ④ 読み聞かせなどの読書活動の推進
- ⑤ ふるさと学習のための資料の収集
- ⑥ 読書に関するレファレンスサービス⁵の充実
- ⑦ 図書の団体貸し出しなどによる学校等への支援
- ⑧ 図書館管理システムの導入検討
- ⑨ 読書通帳⁶の導入
- ⑩ 移動図書館車の運行継続
- ⑪ 図書館夜間開放の継続拡大
- ⑫ 子どもが通いやすい図書館環境の整備
- ⑬ コミュニティの場としての図書館整備
- ⑭ 保護者への図書館情報発信と啓発活動の充実

（２）学校図書館における読書環境の整備

学校図書館は、子どもたちが日常的に読書を楽しむことができる場であるとともに、読書活動や読書指導の場として、子どもの成長を支える重要な役割を果たしています。

児童生徒の豊かな心を育む「読書センター」としての機能と児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援する「学習情報センター」としての機能を果たし、学校教育の中核的な役割を担うことが期待されています。児童生徒が自ら考え、主体的に判断し、行動できる資質や能力などの「生きる力」を育むための様々な学習活動を支援していくことが必要です。

また、昼休みや放課後に好きな本を自由に読み、興味を持った事柄について調べるなど、子どもたちにとって「いつでも開いている図書室」であること。さらには、「心の居場所」としての機能も期待されており、学校全体で学校図書室の活用策や読書活動の促進方策について意識の高揚を図っていく必要があります。

【主な推進事業】

- ① 図書資料の整備と充実
- ② 図書資料のデータベース化
- ③ 学校図書館の運営等に対する教職員間の連携・協力体制の確立
- ④ 学校間や図書館、ボランティアとの連携・協力の促進

基本目標3 子どもの読書活動の普及・啓発

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、子どもの読書活動の意義や重要性について、町民の間に広く関心を深める必要があります。

江差町では、子どもの自主的な読書活動を推進する社会的気運を醸成するため、各種の研修会や親が集まる機会等を利用して、読書活動の意義や重要性について、理解と関心を深めるとともに、読書活動啓発パンフレットの配布や「子ども読書の日⁷」を中心とした取り組みを実施し、広く普及・啓発を推進します。また、町広報誌を活用し、「図書館へ行こう」のコーナーで発信する新刊図書情報や講座案内などの情報の充実に努めます。

アンケート結果を見ると、保護者の読書に対する意識は高いものの、子どもたちを読書に向けさせるのに、テレビやゲームとの兼ね合いで試行錯誤している家庭の様子が伺えます。

こうしたことを踏まえ、学校と家庭とが連携して「ノーテレビ・ノーゲームデー」を推進すること、そして図書館としてもその活動を支援することで、児童生徒が家庭での読書活動をスムーズに行うことができるような取り組みを紹介し、啓発パンフレット等を作成していくことを検討していきます。



- 5 レファレンスサービス：図書館などで調べものの援助をする業務のこと。調査のため、参考となる資料を整備・作成することも含む。
- 6 読書通帳：子どもの読書意欲向上を目的に、図書館で借りた本や資料の記録を残す通帳のこと。
- 7 子ども読書の日：国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために「子ども読書活動の推進に関する法律」（第10条）で4月23日と定めている。

江差町子どもの読書活動推進計画策定委員名簿

氏 名	選 出 区 分	所 属	委 嘱 日
(委員長) 室 谷 恵美子	社会教育関係者	絵本サークルポポリン代表	H30.5.1
篠 村 君 男	社会教育関係者	江差町文化協会会長	H30.5.1
庄 山 明 利	学校教育関係者	江差北中学校教諭	H30.5.1
中 川 さ き	学校教育関係者	江差小学校教諭	H30.5.1
斎 藤 誠 子	学校教育関係者	江差高等学校教諭	H30.5.1
石 岡 典 子	幼稚園関係者	江差幼稚園園長	H30.5.1
高 谷 千 鳥	保育園関係者	かもめ保育園園長	H30.5.1
内 海 暁 子	行政関係者	江差町健康推進課保健師	H30.5.1
(副委員長) 大 島 藤 和	学識経験者	江差町教育委員会指導主事	H30.5.1
斉 藤 繁 憲	学識経験者	江差町図書館協議会	H30.5.1

☆事務局

氏 名	職 名	所 属
大 坂 敏 文	江差町図書館館長 (社会教育課長)	江差町図書館 (江差町教育委員会社会教育課)
川 村 奈津希	司 書	江差町図書館図書係
辻 恵 吾	社会教育係長	江差町教育委員会 社会教育課社会教育係 (人事異動 H30.10.1 より)
澤 田 博 生	前社会教育係長	人事異動 (H30.4.1~H30.9.30 まで在籍)

策定委員会

平成30年6月	第1回 子どもの読書活動推進計画策定委員会
平成30年10月	第2回 子どもの読書活動推進計画策定委員会
平成30年12月	第3回 子どもの読書活動推進計画策定委員会

資料1	子どもの読書活動の推進に関する法律	19
資料2	江差町図書館の現状	22
資料3	子どもの読書アンケート 調査結果	28

資料1

子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年二月十二日法律第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであることに鑑み、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進計画を基本とするとともに、当該都道府県における子ども読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進計画(都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

資料2

江差町図書館の現状

~~~~~ 基本情報 ~~~~~

・人口	7,767人	・相互貸借		
・開館日数	293日	借 用	441冊	28館
・蔵書数	60,763冊	貸 出	1冊	1館
・町民一人当たり	7.8冊	・団体貸出	4,846冊	31団体
・資料費				
図書購入費	3,445千円			
(うち寄付分	100千円)			
(一人あたり	443.5円)			
新聞	268千円			
雑誌	350千円			

~~~~~ 寄 付 ~~~~~

- ・図書購入費
小笠原文庫 100千円

~~~~~ 相 互 貸 借 ~~~~~

- ・借用館
国立国会図書館 岡山県立図書館 栃木県立図書館 佐賀県伊万里市民図書館
埼玉県立熊谷図書館 山形県立図書館 青森県立図書館 鳥取県立図書館
宮城県立図書館 北海道立図書館 旭川市中央図書館 岩見沢市立図書館
旭川市東光図書館 恵庭市立図書館 江別市情報図書館 札幌市曙図書館
札幌市新琴似図書館 札幌市清田図書館 札幌市中央図書館 石狩市民図書館
市立富良野図書館 千歳市立図書館 苫小牧市立中央図書館 登別市立図書館
函館市中央図書館 北見市立図書館 北広島市図書館 北斗市立図書館
- ・貸出館
山梨県立図書館

※ 人口、蔵書数は平成30年3月31日現在、その他は平成29年度の年間実績。

○図書館の活動状況

4月1日～3月17日	絵本読み聞かせ会
4月14日～3月16日	移動図書館 9ステーション 43回 ※7月14日からステーション変更 柳崎町→たんぼぼ保育園
5月17日～2月28日	ブックスタート及び関連事業 7か月児相談 6回 両親学級 2回
4月5日～3月30日	夜間開館実施 93回
5月17日～2月28日	子育て支援センター 読み聞かせ 3回
6月1日～2月27日	あすなろ幼稚園 読み聞かせ 3回 ・ 移動図書館 2回
5月24日～7月20日	図書館利用体験 江小2年・4年、南小1年・2年・4年
6月14日～18日	第2回 本と雑誌の譲渡会
6月15日～1月31日	江差小学校 読み聞かせ・ブックトーク8回
7月11日～3月9日	江差幼稚園 読み聞かせ 3回 ・ 移動図書館 2回
7月20日・12月19日	江差小学校 移動図書館臨時運行
7月24日～8月20日	北海道日本ハムファイターズ 読書促進全道キャンペーン参加
7月25日・12月12日	南が丘小学校 移動図書館臨時運行
9月1日	インターンシップ受け入れ 北海学園大学1名
9月24日	産業まつり かもめPR
10月27日～11月9日	読書週間 「みんなだいすき!はらぺこあおむし」 -エリック・カールの世界-
11月9日・10日	インターンシップ受け入れ 江差高校2年生1名
11月1日～11月24日	オレンジリボンツリー展示
12月16日～30日	年末特別貸出
12月16日	クリスマス会
11月10日・14日・17日	江差北小学校 読み聞かせ会
1月30日	図書館協議会
2月20日	江差北小学校3年 認知症啓発授業

○蔵書数 60,763 冊 (町民一人当たり 7.8 冊)

	0 総記	1 哲学 宗教	2 歴史 地理	3 社会 科学	4 自然 科学	5 工 学	6 産 業	7 芸 術	8 語 学	9 文 学	H 郷土 資料	R 参考 資料	J 児童 図書	合 計
冊	778	1,128	1,899	3,122	1,772	2,757	885	3,481	529	17,424	3,823	948	22,217	60,763
%	1.3%	1.9%	3.1%	5.1%	2.9%	4.5%	1.5%	5.7%	0.9%	28.7%	6.3%	1.6%	36.6%	100%

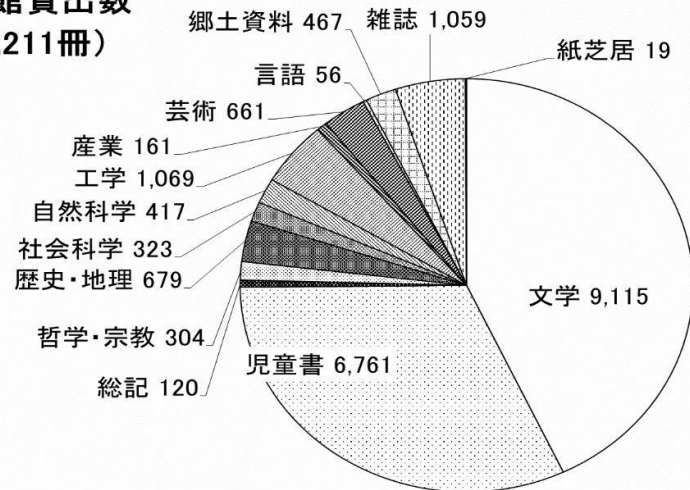
○登録者数 1,342 人 (人口の 17.3%)

	幼 児	小学生	中学生	高校生	一般	計
図 書 館	69	166	19	10	622	886
移動図書館	4	330	0	0	122	456
計	73	496	19	10	744	1,342
%	5.4%	37.0%	1.4%	0.7%	55.4%	100.0%

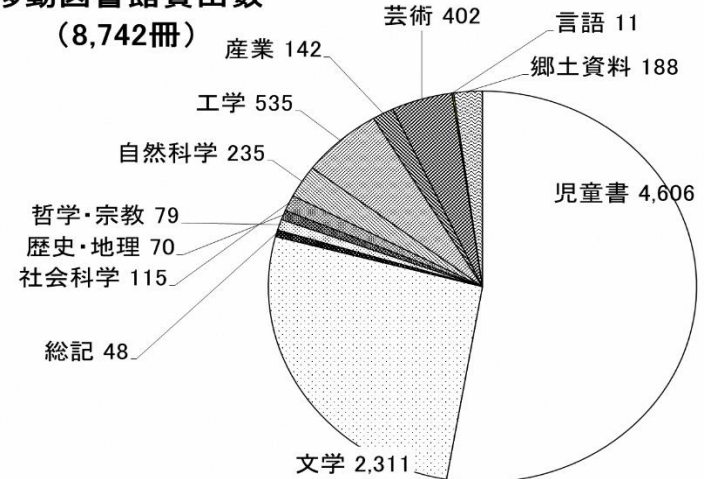
○貸出冊数 29,953 冊 (一人当たり 3.9 冊)

分類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	J	H	雑誌	紙芝居	合計
	総記	哲学 宗教	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工 学	産 業	芸 術	言 語	文 学	児童書	郷土 資料			
図書館	120	304	679	323	417	1,069	161	661	56	9,115	6,761	467	1,059	19	21,211
移動図書館	48	79	70	115	235	535	142	402	11	2,311	4,606	188	-	-	8,742
計	168	383	749	438	652	1,604	303	1,063	67	11,426	11,367	655	1,059	19	29,953
%	0.5%	1.3%	2.5%	1.5%	2.2%	5.4%	1.0%	3.5%	0.2%	38.1%	37.9%	2.2%	3.5%	0.1%	100.0%

図書館貸出数
(21,211冊)



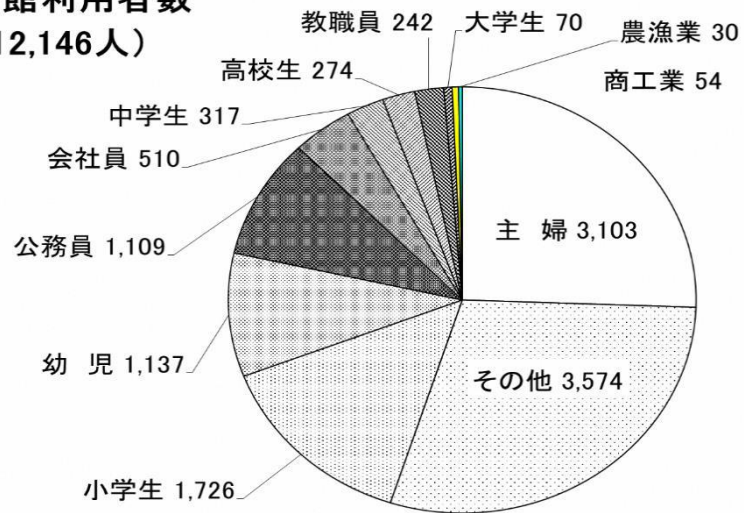
移動図書館貸出数
(8,742冊)



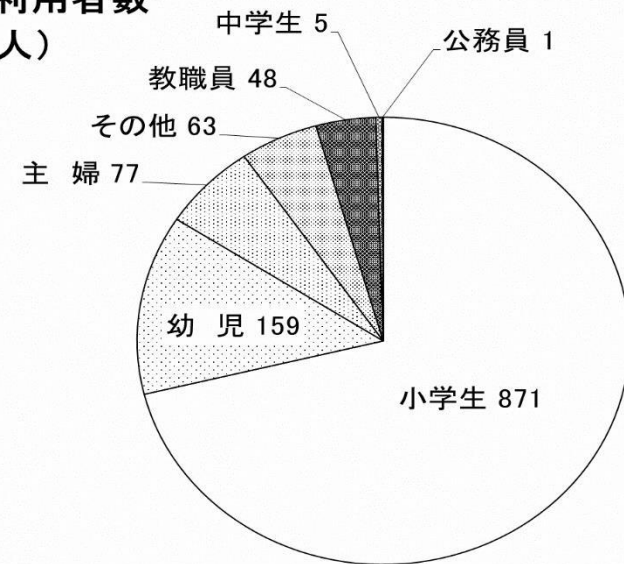
○利用者数 12,694 人

	幼 児	小学生	中学生	高校生	大学生	公務員	教職員	会社員	農漁業	商工業	主 婦	その他	計
図書館	580	1,054	150	112	15	859	298	477	0	98	497	4,827	8,967
移動 図書館	158	1,562	0	0	0	6	48	490	0	0	17	1,446	3,727
計	738	2,616	150	112	15	865	346	967	0	98	514	6,273	12,694
%	5.8%	20.6%	1.2%	0.9%	0.1%	6.8%	2.7%	7.6%	0.0%	0.8%	4.0%	49.4%	100.0%

図書館利用者数
(12,146人)



移動図書館利用者数
(1,224人)



○図書館の推移

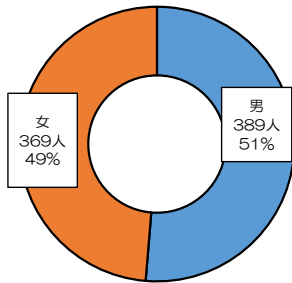
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
人口	人	8,529	8,335	8,109	7,956	7,767
開館日数	日	292	294	294	293	293
蔵書数	冊	61,537	62,103	61,067	60,616	60,763
一般書	冊	38,893	39,273	38,582	38,323	38,546
児童書	冊	22,644	22,825	22,485	22,293	22,217
登録者数	人	1,292	1,203	1,411	1,374	1,342
図書館	人	1,073	996	945	909	886
移動図書館	人	219	207	466	465	456
登録率	%	15.1	14.4	17.4	17.3	17.3
図書購入費	千円	2,884	3,135	3,538	3,501	3,445
うち町費	千円	2,784	3,035	3,151	3,401	3,345
一人当図書 購入費	円	326.4	376.1	436.3	440	443.5
貸出冊数	冊	26,728	27,229	28,211	30,024	29,953
図書館	冊	22,430	22,210	22,418	23,587	21,211
1日平均	冊	77	76	76	81	72
土・日平均	冊	100	103	101	108	91
平日平均	冊	65	66	62	65	62
移動図書館	冊	4,298	5,019	5,793	6,437	8,742
一人当貸出 冊数	冊	3.13	3.27	3.48	3.77	3.86
利用者数	人	11,044	11,759	12,173	12,349	12,694
図書館	人	9,312	9,562	9,256	9,689	8,967
1日平均	人	32	33	31	33	31
土・日平均	人	44	46	43	43	39
平日平均	人	25	28	25	28	26
移動図書館	人	1,732	2,197	2,917	2,680	3,727
団体貸出	冊	5,345	5,307	5,157	4,625	4,828
団体貸出	団体	28	32	29	30	31
相互貸借（借）	冊	717	687	534	446	461
相互貸借（貸）	冊	5	4	2	3	1
除籍冊数	冊	2,345	1,547	3,168	2,447	2,374

江差町内児童・生徒の読書活動に関するアンケート調査結果（集計）

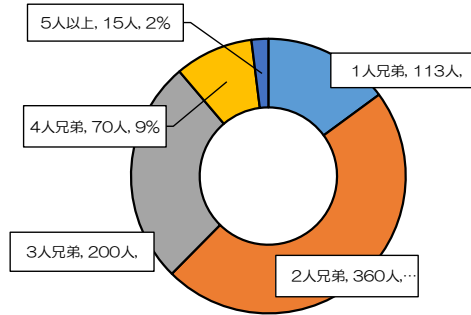
◎区分別アンケート回収数

区分	配布数	回収数	回収率
小学校児童	302人	294人	97.4%
中学校生徒	160人	156人	97.5%
高校生	315人	308人	97.8%
合計	777人	758人	97.6%

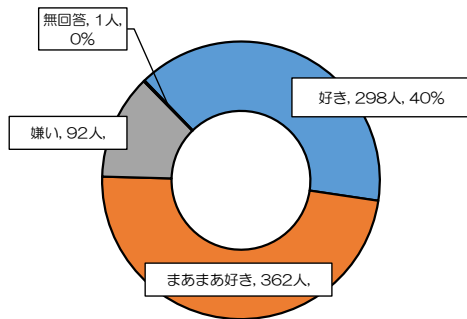
性別



何人兄弟ですか



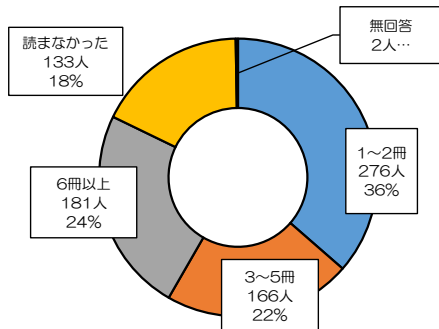
本を読むのが好きですか



○本が好き、まあまあ好きと答えた子どもが9割近くいたことが分かった。

	好き	まあまあ好き	嫌い	無回答	計
小学生	143人	119人	31人	1人	294人
中学生	52人	85人	14人	0人	151人
高校生	103人	158人	47人	0人	308人
計	298人	362人	92人	1人	753人

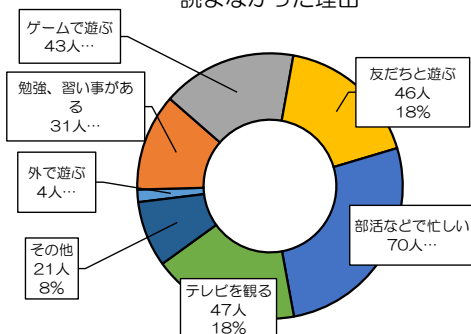
この1か月で何冊の本を読みましたか



○8割を超える子どもたちが本を読んでいることが分かるが、読まなかった子どもたちも2割近くいた。

	1~2冊	3~5冊	6冊以上	読まなかった	無回答	計
小学生	38人	82人	162人	11人	1人	294人
中学生	97人	37人	14人	7人	1人	156人
高校生	141人	47人	5人	115人	0人	308人
計	276人	166人	181人	133人	2人	758人

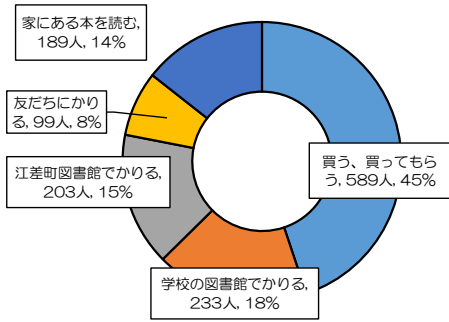
読まなかった理由



○本を読まない理由で一番多いのが、部活で忙しいである。また、習い事、ゲームテレビ、友達と遊ぶがほぼ同じ割合で続いている。

	外で遊ぶ	勉強、習い事がある	ゲームで遊ぶ	友達と遊ぶ	部活などで忙しい	テレビを観る	その他	計
小学生	2人	6人	5人	4人	0人	2人	3人	22人
中学生	2人	0人	3人	1人	5人	4人	0人	15人
高校生	0人	25人	35人	41人	65人	41人	18人	225人
計	4人	31人	43人	46人	70人	47人	21人	262人

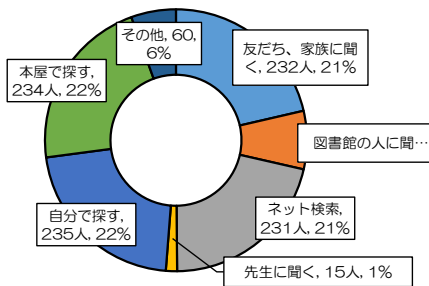
読みたい本はどのように手に入れますか



○読みたい本をどのように手に入れるかとの質問では、江差町図書館や学校図書室で借りる児童が3割を超えていることが分かった。一番多い手法は、本屋での購入で4割強であった。

	買う、買ってもら	学校の図書館でかりる	江差町図書館でかりる	友だちにかりる	家にある本を読む	その他
小学生	160人	165人	157人	17人	136人	26人
中学生	138人	46人	22人	30人	53人	3人
高校生	291人	22人	24人	52人	-	6人
計	589人	233人	203人	99人	189人	35人

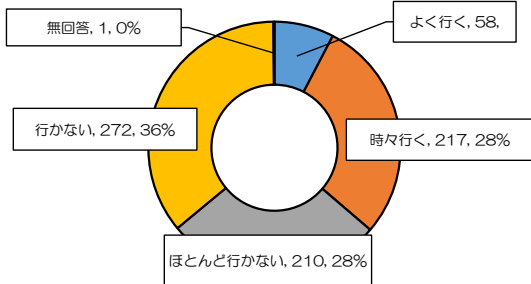
読みたい本をどのようにみつけますか



○本屋やネットなど自分で探す子どもが6割を超えている一方、友達や家族に聞いて見つける子どもも2割もいた。

	友だち、家族に聞く	図書館の人に聞く	ネット検索	先生に聞く	自分で探す	本屋で探す	その他
小学生	118人	41人	-	15人	235人	-	19
中学生	77人	17人	76人	-	-	-	36
高校生	37人	20人	155人	-	-	234人	5
計	232人	78人	231人	15人	235人	234人	60

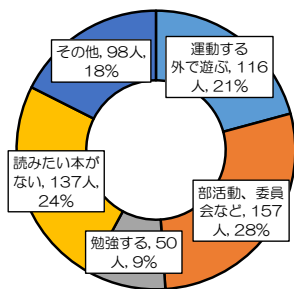
休み時間や放課後に学校の図書室へ行きますか



○学校の図書室の利用について聞いたところ、まったく行かない、ほとんど行かない子どもが64%を占めている。よく行く子の割合は8%と学校図書室の利用が少ない現状が分かる。

	よく行く	時々行く	ほとんど行かない	行かない	無回答
小学生	35人	135人	88人	35人	1人
中学生	17人	64人	51人	24人	0人
高校生	6人	18人	71人	213人	0人
計	58人	217人	210人	272人	1人

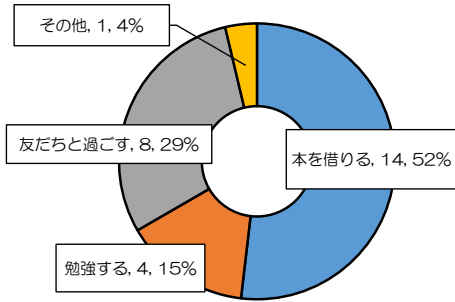
学校の図書室に行かない理由



○学校の図書室に行かない理由を尋ねたところ、外で遊んだり、部活動や委員会活動で行かない子どもが49%と約5割に及んでいる。また、読みたい本がないと答えた子どもが24%と137人もいたことが分かった。

	運動する外で遊ぶ	部活動、委員会など	勉強する	読みたい本がない	その他
小学生	109人	16人	13人	-	23人
中学生	7人	21人	-	32人	21人
高校生	-	120人	37人	105人	54人
計	116人	157人	50人	137人	98人

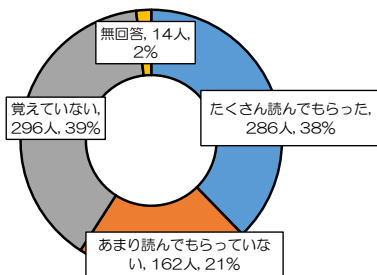
図書室での過ごし方（高校生限定）



○図書室での過ごし方を高校生に聞いたところ、本を借りたり勉強したり、友達と過ごすことでの利用が96%と圧倒しているが、26人しかいないことから、図書室の利用頻度が低い実態が浮き彫りとなっている。

	本を借りる	勉強する	友だちと過ごす	その他
高校生	14人	4人	8人	1人

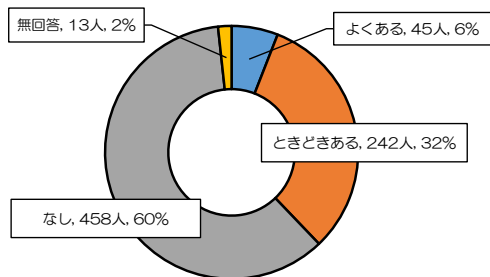
絵本の読み聞かせなどをしてもらったことはありますか



○幼少の頃に絵本の読み聞かせをもらったことがあるかを尋ねたところ、たくさん読んでもらったと答えた子どもが38%、286人にも上った。一方、あまり読んでもらっていない子どもも21%、162人と高い割合を示している。

	たくさん読んでもらった	あまり読んでもらっていない	覚えていない	無回答
小学生	111人	86人	95人	2人
中学生	53人	34人	60人	9人
高校生	122人	42人	141人	3人
計	286人	162人	296人	14人

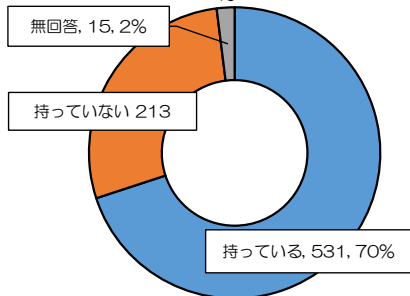
家族で本について話題になることはありますか



○家族で本について話題になることがあるかと尋ねたところ、「なし」と答えた子どもが60%、458人を占めた。本離れの傾向が家族で広がっているのではないだろうか。

	よくある	ときどきある	なし	無回答
小学生	31人	99人	163人	1人
中学生	6人	65人	76人	9人
高校生	8人	78人	219人	3人
計	45人	242人	458人	13人

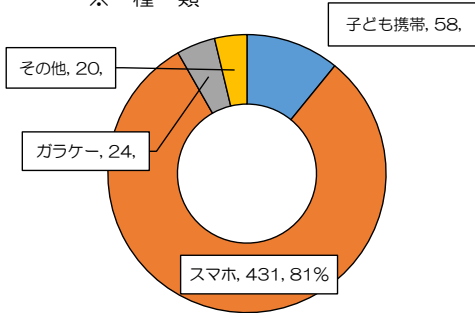
携帯電話やスマートフォンを持っていますか



○携帯電話やスマートフォンの所持について質問をしたところ、70%、531人が持っていると答えている。「持っていない」と答えた28%、213人は、小学生が殆どで175人と82%を占めている。中学生では37人、33%を占めているが、高校生で持っていない子どもは1人だけであった。

	持っている	持っていない	無回答
小学生	117人	175人	3人
中学生	110人	37人	9人
高校生	304人	1人	3人
計	531人	213人	15人

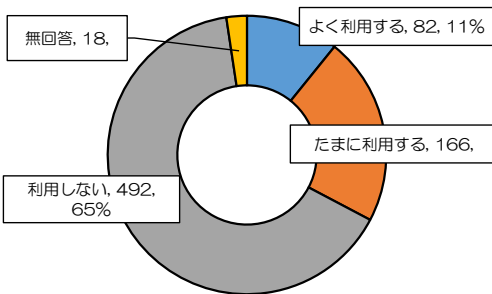
※ 種類



○スマートフォンが81%、431人と圧倒的にスマホが普及している。

	子ども携帯	スマホ	ガラケー	その他
小学生	58人	57人	3人	0人
中学生	0人	74人	17人	20人
高校生	0人	300人	4人	0人
計	58人	431人	24人	20人

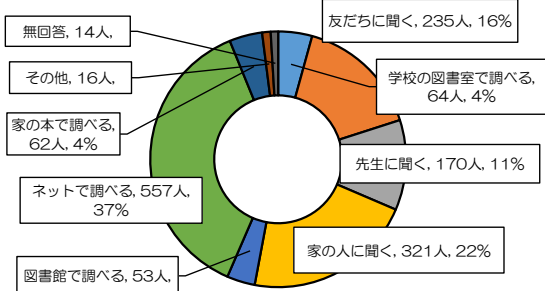
電子書籍を利用しますか



○電子書籍の利用を尋ねたところ、利用しないが65%、492人もいた一方、よく利用する、たまに利用するも33%、248人もいたことが分かった。中学生や高校生では利用頻度が高かったが、小学生でも73人、25%もいたことが分かった。

	よく利用する	たまに利用する	利用しない	無回答
小学生	30人	43人	218人	3人
中学生	11人	28人	106人	11人
高校生	41人	95人	168人	4人
計	82人	166人	492人	18人

知りたいことがあるとき、どうやって調べますか

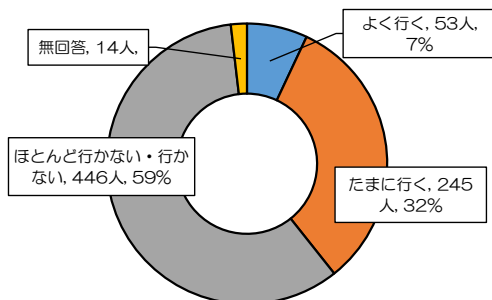


○知りたいことがあるとき、どうやって調べるか聞いたところ、「ネットで調べる」が37%、557人と一番多かった。学校の図書室や図書館で調べる子どもは、8%、117人とどまった。ネット社会が浮き彫りになっている現状が分かった。

	学校の図書室で調べる	友だちに聞く	先生に聞く	家の人に聞く
小学生	50人	53人	68人	167人
中学生	12人	67人	40人	69人
高校生	2人	115人	62人	85人
計	64人	235人	170人	321人

	図書館で調べる	ネットで調べる	家の本で調べる	その他	無回答
小学生	42人	135人	62人	10人	3人
中学生	8人	124人	-	6人	8人
高校生	3人	298人	-	0人	3人
計	53人	557人	62人	16人	14人

江差町図書館へはよく行きますか



○最後に江差町図書館へはよく行きますかと尋ねたところ、「ほとんど行かない、行かない」と答えた子どもが59%、446人と過半数を超えた。割合で行くと、小学生は49%、中学生は41%、高校生は77%が図書館を殆ど利用していないことが分かった。高校生については、江差町以外の生徒も含んでいるため、割合が高くなっているが、小学生の約半数が図書館へ来ていない実態が分かった。「よく行く」と答えた中学生は4人と0.2%と極端に少ないことが分かった。

	よく行く	たまに行くと行く	ほとんど行かない・行かない	無回答
小学生	48人	101人	144人	1人
中学生	4人	77人	65人	10人
高校生	1人	67人	237人	3人
計	53人	245人	446人	14人

アンケート内の自由記載についてのまとめ

○過去一ヶ月の間に本を読まなかった理由

【小学生】

- 本が好きではない
- 電子書籍を読んでいる

【高校生】

- 本が好きじゃない、興味がない、面白くない
- 電子書籍を読んでいる

○読みたい本はどのように手に入れるか

【小学生】

- 図書室、図書館で借りる
- 親等を買ってもらう
- 電子書籍で読む

【中学生】

- 図書館で借りる
- 譲渡会を利用する

【高校生】

- 電子書籍で読む
- 古本屋で手に入れる

○読みたい本はどのように見つけるか

【小学生】

- インターネットで調べる
- 雑誌で探す
- テレビの特集
- 店頭
- 家族の紹介

【中学生】

- 店頭
- テレビの特集

【高校生】

- テレビの特集
- 店頭

○図書室をどのように利用するか

- 委員会の仕事（図書委員）

○図書室を利用しない理由

【高校生】

- 本は購入するから
- 読みたい本がないから
- 図書室に入りづらい
- 本に興味がない
- 友人と過ごすから
- 借り手も返すのが面倒だから
- 部活等で時間がない

○調べ物の方法

【小学生】

- 辞書等で調べる

【中学生】

- 辞書等で調べる

江差町図書館への要望

【小学生】

- にぎやかにしてもよいようにしてほしい
- 図書の種類を増やしてほしい
- 机、イス（閲覧場所）を増やしてほしい
- 移動図書館車で巡回してほしい
- 漫画を増やしてほしい
- 夜間会館の日数を増やしてほしい
- 感想文の募集などをしてほしい
- 貸し出し冊数を増やしてほしい
- 図書を年代別に並べてほしい

【中学生】

- DVDの貸し出しをしてほしい
- 貸し出し冊数を増やしてほしい
- 電子書籍の貸し出しをしてほしい
- 図書の種類を増やしてほしい

【高校生】

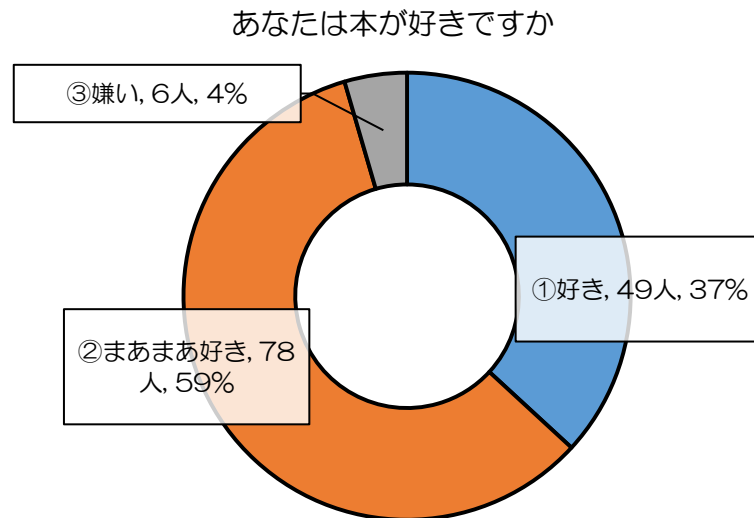
- 図書の種類を増やしてほしい
- 漫画を増やしてほしい
- 図書館をもっと大規模にほしい

江差町内保護者の読書活動に関するアンケート 調査結果（集計）

問1 あなたは本が好きですか

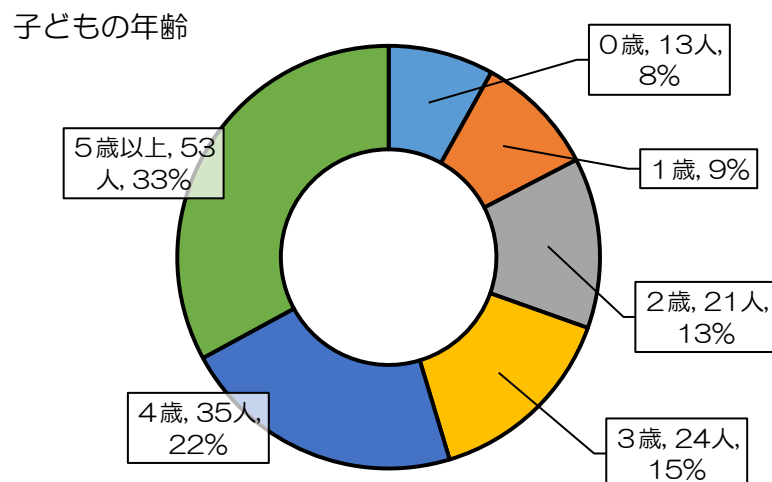
	①好き	②まあまあ好き	③嫌い	計
幼稚園 保護者	20人	23人	2人	45人
保育園 保護者	24人	49人	4人	77人
乳幼児 保護者	5人	6人	0人	11人
計	49人	78人	6人	133人

保護者についても「本が好き」「まあまあ好き」と答えた割合は、95.1%と大多数の親が本が好きと答えています。



問2 幼稚園・保育園に通っているお子さんは何歳ですか

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	計
幼稚園 保護者	0人	0人	0人	10人	13人	23人	46人
保育園 保護者	2人	15人	21人	13人	22人	30人	103人
乳幼児 保護者	11人	0人	0人	1人	-	-	12人
計	13人	15人	21人	24人	35人	53人	161人

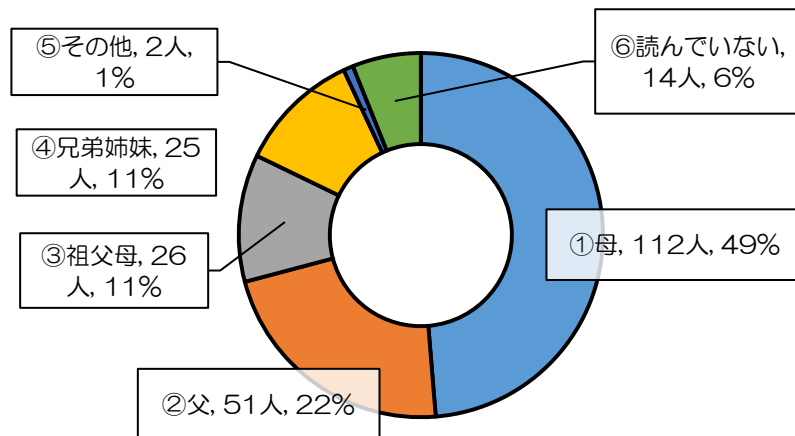


問3 家でお子さんに絵本などを読んでいますか。また、読み聞かせをするのはおもに誰ですか

	①母	②父	③祖父母	④兄弟姉妹	⑤その他	⑥読んでいない	計
幼稚園 保護者	41人	25人	5人	8人	1人	1人	81人
保育園 保護者	63人	23人	18人	14人	1人	11人	130人
乳幼児 保護者	8人	3人	3人	3人	0人	2人	19人
計	112人	51人	26人	25人	2人	14人	230人

読み聞かせは母親がするというのが、約半数の49%でした。また父親がするとの回答も22%あり、読み聞かせの中心が両親であることがうかがえます。「読んでいない」を選択した家庭は6%でした。

読み聞かせはしているか、誰がしているか

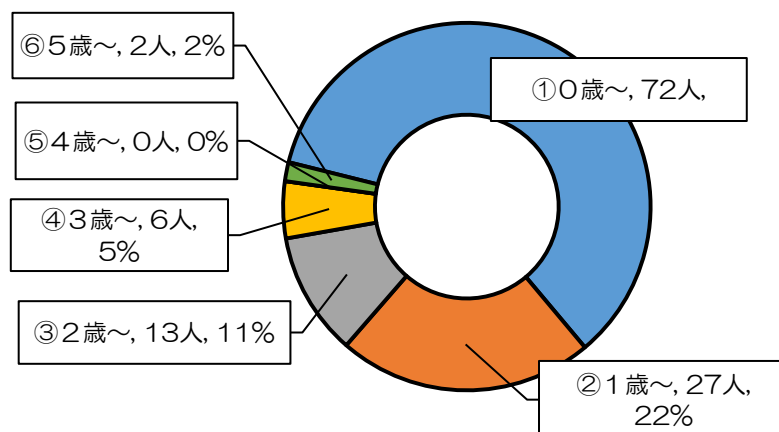


問4 読み聞かせをしている方は、お子さんが何歳くらいから読み聞かせをはじめましたか

	①0歳～	②1歳～	③2歳～	④3歳～	⑤4歳～	⑥5歳～	計
幼稚園 保護者	26人	9人	7人	1人	0人	0人	43人
保育園 保護者	36人	18人	6人	5人	0人	2人	67人
乳幼児 保護者	10人	0人	0人	0人	0人	-	10人
計	72人	27人	13人	6人	0人	2人	120人

読み聞かせをした時の子どもの年齢は、0歳～1歳までが80.9%となっています。ほとんどの家庭が早いうちからの読み聞かせを実施していることがわかりました。

何歳から読み聞かせをしているか

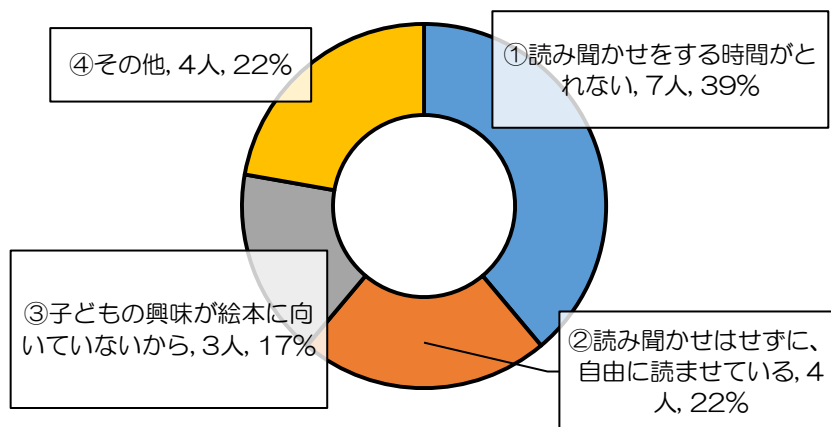


問5 問3で「⑥読んでいない」と答えた方にお聞きします。読み聞かせをしなかった理由を教えてください

	①読み聞かせをする時間がとれない	②読み聞かせはせずに、自由に読ませている	③子どもの興味が絵本に向いていないから	④その他	計
幼稚園 保護者	1人	0人	1人	0人	2人
保育園 保護者	5人	4人	2人	3人	14人
乳幼児 保護者	1人	0人	0人	1人	2人
計	7人	4人	3人	4人	18人

読み聞かせをしなかった理由については、読み聞かせをする時間が取れないという回答が一番多かった。

読み聞かせをしなかった理由

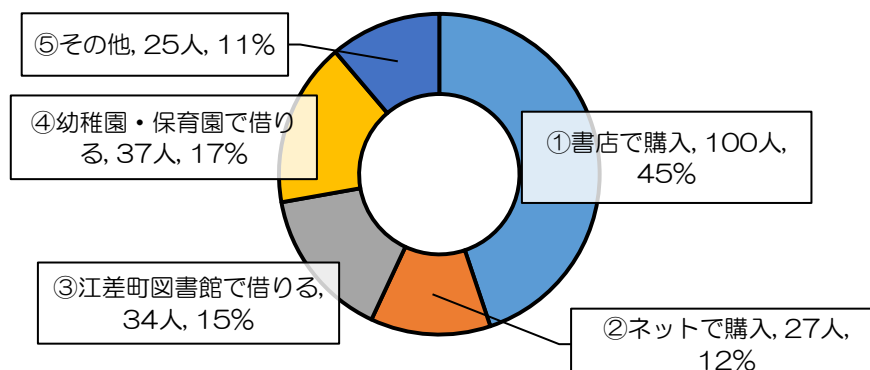


問6 読んであげる本はどのように入手していますか（いくつでも）

	①書店で購入	②ネットで購入	③江差町図書館で借りる	④幼稚園・保育園で借り	⑤その他	計
幼稚園 保護者	33人	13人	18人	35人	9人	108人
保育園 保護者	59人	13人	14人	2人	13人	101人
乳幼児 保護者	8人	1人	2人	0人	3人	14人
計	100人	27人	34人	37人	25人	223人

本の入手方法は、「書店・ネットで購入する」が56.5%と半数以上を占めています。一方、「図書館で借りる」との回答は15.3%と少なく、もっと図書館を利用してもらうための施策・環境づくりが課題となっています。

読んであげる本はどのように入手していますか

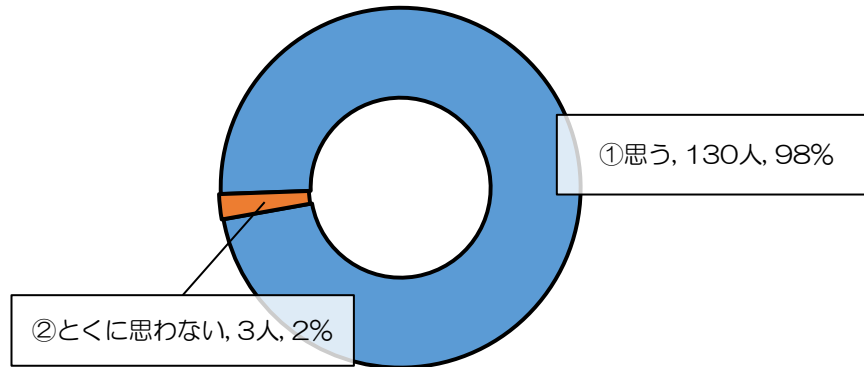


問7 幼いころから本に親しむことは大切なことだとは思われますか

	①思う	②とくに 思わない	計
幼稚園 保護者	45人	0人	45人
保育園 保護者	75人	2人	77人
乳幼児 保護者	10人	1人	11人
計	130人	3人	133人

幼いころから本に親しむことの重要性は、ほとんどの保護者が認識していました。

本に親しむことは大切なことだとは思われますか

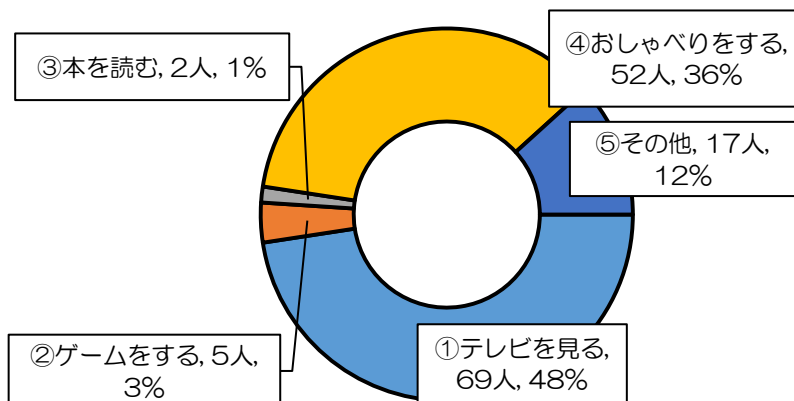


問8 夕食後、家族でいっしょに過ごす時間で一番多いのはどれですか

	①テレビを 見る	②ゲーム をする	③本を読 む	④おしゃ べりをす	⑤その他	計
幼稚園 保護者	28人	3人	1人	15人	2人	49人
保育園 保護者	39人	2人	0人	30人	14人	85人
乳幼児 保護者	2人	0人	1人	7人	1人	11人
計	69人	5人	2人	52人	17人	145人

家族で一緒に過ごす時間で多いのは、「テレビを見る」が50%でした。次に家族でおしゃべりをする」が33.6%と多かったものの、「本を読む」と答えた保護者は1名のみでした。

夕食後の過ごし方

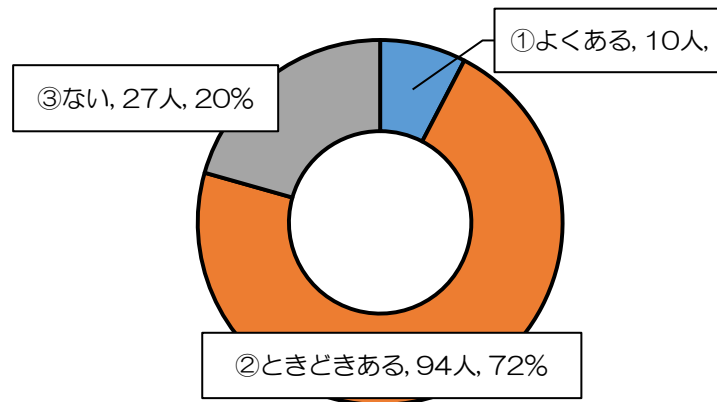


問9 家族で本について話題になることはありますか

	①よくある	②ときどきある	③ない	計
幼稚園 保護者	7人	33人	5人	45人
保育園 保護者	3人	56人	18人	77人
乳幼児 保護者	0人	5人	4人	9人
計	10人	94人	27人	131人

「本について話題になることはありますか」との問いでは、「よくある」「ときどきある」との回答が81.1%の保護者からあり、本への関心は何える。

家族で本について話題になることはありますか

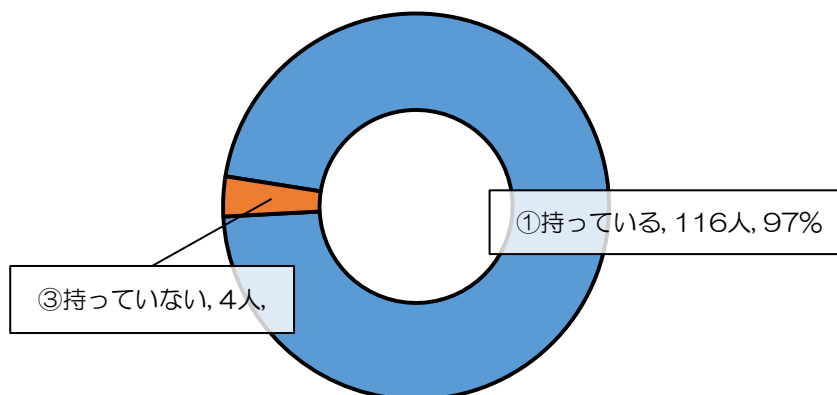


問10 携帯電話やスマートフォンを持っていますか

	①持っている	③持っていない	計
幼稚園 保護者	44人	1人	45人
保育園 保護者	63人	3人	66人
乳幼児 保護者	9人	0人	9人
計	116人	4人	120人

携帯を持っていない保護者の方が圧倒的に少ないことがわかる。

携帯電話やスマートフォンを持っていますか

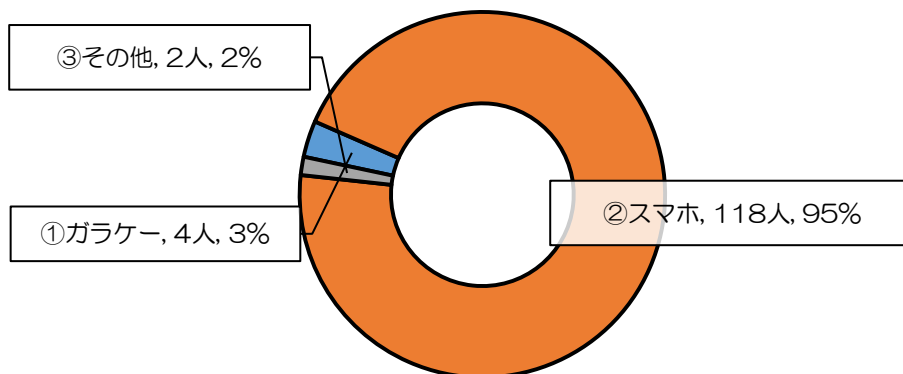


※「①持っている」を選んだ方は、差し支えなければ種類を教えてください。

	①ガラケー	②スマホ	③その他	計
幼稚園 保護者	2人	40人	1人	43人
保育園 保護者	2人	70人	1人	73人
乳幼児 保護者	0人	8人	0人	8人
計	4人	118人	2人	124人

種類については95%と大半がスマートフォンでした。

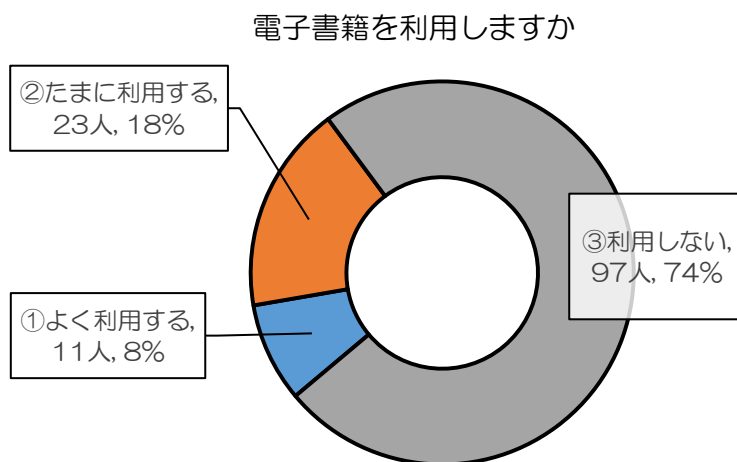
携帯電話やスマートフォンを持っていますか



問11 電子書籍を利用しますか

	①よく利用する	②たまに利用する	③利用しない	計
幼稚園 保護者	5人	5人	35人	45人
保育園 保護者	6人	17人	54人	77人
乳幼児 保護者	0人	1人	8人	9人
計	11人	23人	97人	131人

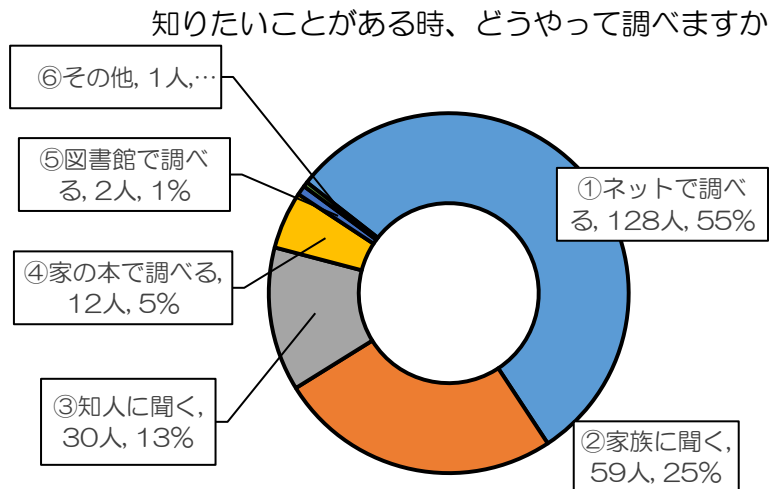
「よく利用する」「たまに利用する」は26%とそれほど多くなく、ほとんどの保護者が電子書籍を利用していませんでした。



問12 知りたいことがある時、どうやって調べますか

	①ネットで調べる	②家族に聞く	③知人に聞く	④家の本で調べる	⑤図書館で調べる	⑥その他	計
幼稚園 保護者	44人	20人	10人	7人	2人	1人	84人
保育園 保護者	75人	33人	18人	5人	0人	0人	131人
乳幼児 保護者	9人	6人	2人	0人	0人	0人	17人
計	128人	59人	30人	12人	2人	1人	232人

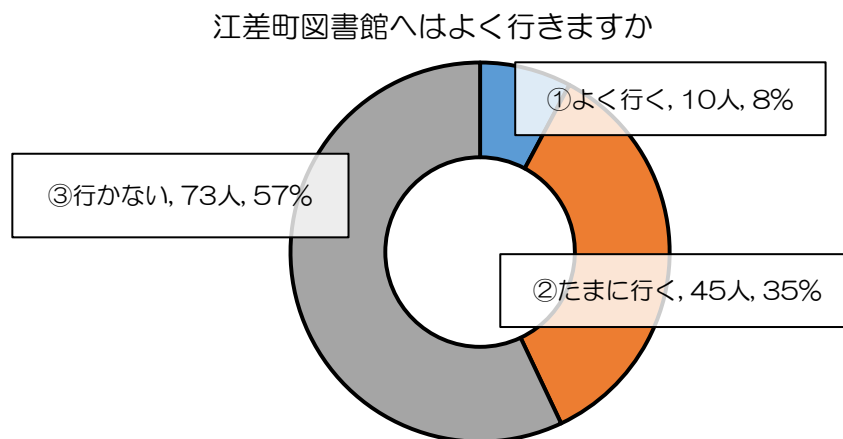
調べものにはインターネットを使うとの回答が55%と、約半数を占めていました。続いて家族、知人に聞くとの回答が合わせて38%という結果でした。一方、図書館で調べる人は殆どいない現状がわかりました。



問13 江差町図書館へはよく行きますか

	①よく行く	②たまに行く	③行かない	計
幼稚園 保護者	5人	21人	18人	44人
保育園 保護者	5人	20人	52人	77人
乳幼児 保護者	0人	4人	3人	7人
計	10人	45人	73人	128人

「図書館によく行く」「たまに行く」は合わせて42.2%でした。「行かない」との回答は57.8%と半数以上あり、図書館を利用している家庭が少ないという現状がわかりました。



アンケート内の自由記載についてのまとめ

○日常的に読み聞かせをしない理由

- ・子どもが希望したときに行う
- ・自身（親）が本を好きではないから

○読み聞かせ用の本をどのように入手するか

- ・頂き物、お下がり
- ・図書館から借りる
- ・共同購入等の無料配布を利用
- ・出版社の定期購入を利用

○夕食後の家族のすごし方

- ・兄弟同士で遊ばせる
- ・おもちゃ等で遊ぶ
- ・すぐに就寝する
- ・インターネットの動画を観る

○江差町図書館への要望

- ・スペースが狭い
- ・インターネットを利用した蔵書検索ができるようにしてほしい
- ・子どもが通いやすくなる工夫をしてほしい
- ・主婦向けの雑誌の増加
- ・児童スペースの整理
- ・貸し出し期間の延長
- ・貸し出し冊数の増加